

みどりに関するアンケート結果

1. アンケートの実施概要

本計画の改定にあたり、みどりづくりに携わる多様な主体の意見を取り入れるため、市民、学生、自治会・市民活動団体、学校、事業者に対してみどりに関するアンケートを実施しました。

表 アンケート実施概要

対象		配付数	有効回収数
市民	満 20 歳以上から無作為抽出	3,000	1,282 (42.7%)
事業者	従業員 30 人以上のすべての事業者	194	80 (41.2%)
学校	市内の公立小学校・中学校・高校、学校法人 (摂南大学、大阪電気通信大学、府立大学工業高等専門学校、同志社香里中学・高校、香里又ヴェール学院中学・高校)	44	41 (93.2%)
学生	市内の公立中学校・高校の学生	866	798 (92.1%)
自治会	市内の全自治会	200	132 (66%)
市民活動団体	市内のみどりに関する市民活動団体	20	10 (50%)

分析の視点	項目	対象
①みどりに対する印象	①-1 みどりの量について	市民・学生
	①-2 印象的なみどりについて	市民・学生
②公園の利用等	②-1 「公園の利用頻度」	市民・学生
	②-2 「公園の利用内容」について	市民・学生
	②-3 「公園への要望」について	市民・学生
③みどりとの関わりについて	③-A-1 活動の認知度	市民・学生
	③-A-2 活動への参加状況	市民・学生
	③-A-3 活動への参加意向	市民・学生
	③-A-4 必要な支援について	市民・学生
	③-B-1 活動への参加状況	自治会・市民活動団体、 学校、事業者
	④-B-2 活動の目的について	自治会・市民活動団体、 学校、事業者
	④-B-3 必要な支援について	自治会・市民活動団体、 学校、事業者
④自由意見について	—	全ての対象

2. アンケート実施結果

<分析項目について>

みどりに対する印象、公園の利用状況等、みどりとのかかわりの大きく3つの分析項目について設問項目ごとに分析しました。

分析項目	アンケート対象者	クロス集計の設定
1. みどりに対する印象	市民、学生	年齢別 地域別 公園種別
2. 公園の利用状況等	自治会・市民活動団体、学校	—
3. みどりとのかかわり	事業者	事業年数別、敷地面積別

<アンケート対象者について>

市民、自治会・市民活動団体、学校、事業者：各アンケート対象者の集計結果を示しています。

市民・学生：市民アンケートと学生アンケートで共通する設問について、合算した結果を示しています。

<クロス集計の設定について>

「年齢別」：「市民アンケート」において把握した年齢層（20 歳代から 80 歳代まで、10 歳区切り）に加え、「学生アンケート」の結果を 10 歳代として年代別にクロス集計しました。

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
------	------	------	------	------	------	------	-------

「地域別」：「市民アンケート」において把握した「お住まい」をもとに、右図に示す地域別にクロス集計しました。

北西部	北東部	西部	中央部	東部	南部
-----	-----	----	-----	----	----

「公園種別」：市民アンケート結果および学生アンケート結果において把握した「普段よく利用する公園」をもとに、その公園種別により以下の通り「大規模公園」と「小規模公園」に分類し、クロス集計しました。
 「大規模公園」… 国営公園、広域公園、地区公園、特殊公園、等
 「小規模公園」… 近隣公園、街区公園、その他の公園（ちびっこ老人憩いの広場等含む）



「事業年数別」：事業者アンケートにおいて把握した「市内で事業をされている年数」をもとに、前計画（平成 13 年策定）の策定前後となる「20 年未満」と「20 年以上」で分類し、クロス集計しました。

「敷地面積別」：事業者アンケートにおいて把握した「事業所の敷地面積」をもとに、「10,000 m²未満」、「10,000 m²以上 50,000 m²未満」、「50,000 m²以上」で分類し、クロス集計しました。

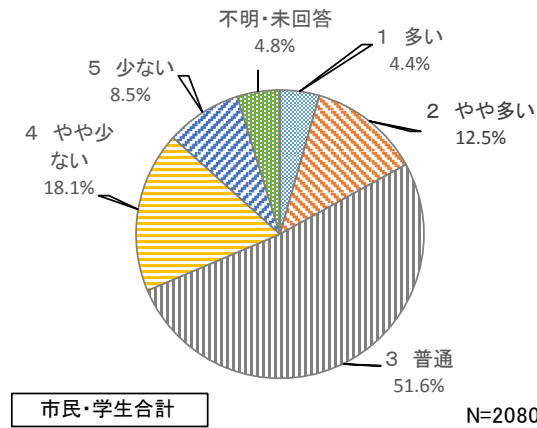
① みどりに対する印象

みどりに対する印象として、「みどりの量」と「印象的なみどり」について市民・学生に対して調査を行いました。

①-1 みどりの量について

【問：市全体のみどりの量について】 **市民・学生** 《単純集計》

寝屋川市全体のみどりの量について、どう思いますか？



「普通」と回答された方の割合が51.6%と最も多く、「やや少ない」・「少ない」と回答された方の割合は合計26.6%、「多い」・「やや多い」と回答された方の割合は、合計16.9%であり、**みどりの量が多いと感じている市民は比較的少ないです。**

【問：市全体のみどりの量について】と【問：最近15年間の市のみどりの増加量について】の回答の関係性について **市民** 《クロス集計》

みどりの量	みどりの量						総計 (N=1282)
	1 多い (N=43)	2 やや多い (N=149)	3 普通 (N=607)	4 やや少ない (N=286)	5 少ない (N=114)	不明・無回答 (N=83)	
みどりは増えたと思うか							
1 増えた	23.3	12.1	5.1	1.0	0.9	10.8	5.6
2 やや増えた	20.9	27.5	23.6	17.8	7.9	15.7	20.7
3 変わらない	16.3	24.8	30.3	37.8	32.5	20.5	30.4
4 やや減った	4.7	8.7	7.9	11.2	9.6	7.2	8.7
5 減った	2.3	3.4	6.1	11.5	22.8	3.6	8.2
6 わからない	32.6	22.8	25.7	20.6	25.4	24.1	24.3
不明・無回答	0.0	0.7	1.3	0.0	0.9	18.1	2.0
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※表中の■は、各列（みどりの量）での上位3位を示しています。

(単位: %)

「増えた」・「やや増えた」の合計に着目すると、全体（総計）では26.3%です。これに対して、

- 市全体のみどりの量が「多い」と回答された方は44.2%
- 「やや多い」と回答された方は39.6%
- 「普通」と回答された方は28.7% となっています。

以上より、市全体のみどりの量が「多い」と回答した市民ほど、みどりが「増えた」と感じていることがわかります。

①-2 印象的なみどりについて

【問：印象的（お気に入り）なみどりについて】 **市民** 《クロス集計》

選択肢	北西部 (N=293)	北東部 (N=237)	西部 (N=179)	中央部 (N=137)	東部 (N=227)	南部 (N=179)	不明・無回答 (N=30)	総計 (N=1282)
1 打上川治水緑地など大規模公園のみどり	49.5	76.8	45.3	58.4	81.5	49.2	53.3	60.6
2 まちなかの身近な公園のみどり	19.5	14.8	12.3	21.9	10.6	18.4	10.0	15.9
3 淀川や寝屋川など河川の水辺のみどり	50.5	23.6	55.3	26.3	15.9	28.5	16.7	33.6
4 寝屋川せせらぎ公園など駅前のみどり	11.9	13.9	16.8	26.3	10.6	12.8	6.7	14.3
5 友呂岐緑地などの緑道のみどり	17.4	9.3	17.9	36.5	8.8	32.4	13.3	18.5
6 東部丘陵地などに残る自然のみどり	9.9	14.3	8.4	7.3	29.1	14.0	13.3	14.3
7 田畑など農地のみどり	9.6	7.6	10.1	6.6	23.8	14.0	6.7	12.0
8 街路樹（桜並木など）の道路のみどり	19.1	33.3	22.9	24.8	21.6	25.7	20.0	24.3
9 市役所や学校など公共施設のみどり	3.4	2.5	2.8	0.7	2.6	3.9	6.7	2.9
10 市街地内の生垣や樹木などのみどり	4.8	9.3	2.8	2.2	2.6	6.1	13.3	5.1
11 企業やショッピングモールなど民間施設のみどり	0.3	1.7	3.9	0.0	1.3	1.7	0.0	1.4
12 神田天満宮のクスノキなど寺社仏閣のみどり	9.2	4.2	18.4	6.6	5.3	15.6	16.7	9.7
13 太秦高塚古墳や高宮廃寺跡など史跡のみどり	1.4	2.5	1.7	1.5	7.5	3.9	0.0	3.0
14 その他	5.8	5.1	1.7	0.0	4.0	1.7	6.7	3.6
不明・無回答	4.4	1.3	5.0	4.4	1.3	1.7	20.0	3.4

※表中の■は、各列（各地域）での上位3位を示しています。

(単位: %)

全体（総計）では、「打上川治水緑地など大規模公園のみどり」が60.6%、「淀川や寝屋川など河川の水辺のみどり」が33.6%、「街路樹（桜並木など）の道路のみどり」が24.3%となっています。各地域の特色を見ると、

- 全ての地域で「打上川治水緑地など大規模公園のみどり」が上位を占めるとともに、東部地域以外の全ての地域で「淀川や寝屋川など河川の水辺のみどり」が上位を占めています。
- 北東部地域と西部地域では、「街路樹（桜並木など）の道路のみどり」が上位を占めています。
- 中央部地域では、「寝屋川せせらぎ公園などの駅前のみどり」や「友呂岐緑地などの緑道のみどり」が上位を占めています。
- 東部地域では、「東部丘陵地のみどり」や「田畑などのみどり」が上位を占めています。
- 南部地域では、「友呂岐緑地などの緑道のみどり」が上位を占めています。

以上より、市域全体において、「打上川治水緑地など大規模公園のみどり」や「淀川や寝屋川など河川の水辺のみどり」などが市を代表するみどりとして捉えられており、また、各地域で身近に存在するみどりが印象的なみどりとなっていることがわかります。

② 公園の利用等

「公園の利用頻度」「公園の利用内容」「公園への要望」について、市民・学生に対して、「年齢別」「地域別」「よく利用する公園種別」ごとにクロス集計し、分析を行いました。

②-1 「公園の利用頻度」

(1) 年齢別

【問：公園の利用頻度について】 市民・学生 《クロス集計》

選択肢	10歳代 (N=798)	20歳代 (N=72)	30歳代 (N=140)	40歳代 (N=213)	50歳代 (N=221)	60歳代 (N=295)	70歳代 (N=303)	80歳以上 (N=20)	不明・無回答 (N=18)	総計 (N=2080)
1 よく利用する(週1回以上)	9.5	6.9	15.7	8.5	8.6	15.6	25.7	20.0	5.6	12.9
2 まあまあ利用する(月1回以上)	18.7	11.1	29.3	22.5	11.8	15.3	17.8	30.0	22.2	18.3
3 たまに利用する(年1回以上)	21.6	22.2	24.3	28.2	28.5	28.1	20.1	20.0	16.7	23.8
4 ほとんど利用しない(数年に1回程度)	31.0	38.9	22.1	24.9	33.0	26.4	22.1	20.0	27.8	28.2
5 全く利用しない	17.4	19.4	7.9	15.5	16.7	12.9	10.2	10.0	16.7	14.8
不明・無回答	1.9	1.4	0.7	0.5	1.4	1.7	4.0	0.0	11.1	1.9
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-

※表中の■は、各列(各年齢層)での上位3位を示しています。

(単位:%)

「よく利用する」・「まあまあ利用する」・「たまに利用する」の合計に着目すると、全体(総計)では55.0%であり、一方で、「ほとんど利用しない」・「全く利用しない」の合計は43.0%となっています。

年代別に特色をみると、

- 「10歳代」、「20歳代」、「50歳代」では、「ほとんど利用しない」・「全く利用しない」の合計は、それぞれ約半数を占めています。
- 「30歳代」、「60歳代」、「70歳代」では、「よく利用する」・「まあまあ利用する」・「たまに利用する」の合計は、それぞれ約6割を占めています。

以上より、子育て世代の「30歳代」、高齢者の「60歳代」、「70歳代」の利用頻度が高い一方、「10歳代」、「20歳代」といった若い世代や、「50歳代」の利用頻度が低いことがわかり、年齢層により利用頻度に差があることがわかります。

(2) 地域別

【問：公園の利用頻度について】 市民 《クロス集計》

選択肢	北西部 (N=293)	北東部 (N=237)	西部 (N=179)	中央部 (N=137)	東部 (N=227)	南部 (N=179)	不明・無回答 (N=30)	総計 (N=1282)
1 よく利用する(週1回以上)	9.9	21.1	6.7	13.9	22.0	18.4	0.0	15.1
2 まあまあ利用する(月1回以上)	18.1	16.5	16.2	18.2	22.9	15.6	20.0	18.1
3 たまに利用する(年1回以上)	21.8	28.3	25.1	22.6	28.2	26.8	16.7	25.3
4 ほとんど利用しない(数年に1回程度)	30.4	25.7	32.4	28.5	15.9	25.1	36.7	26.4
5 全く利用しない	18.1	7.6	16.8	14.6	9.3	11.7	20.0	13.2
不明・無回答	1.7	0.8	2.8	2.2	1.8	2.2	6.7	2.0
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※表中の■は、各列(各地域)での上位3位を示しています。

(単位:%)

「よく利用する」・「まあまあ利用する」・「たまに利用する」の合計に着目すると、全体(総計)では58.5%であり、一方で「ほとんど利用しない」・「全く利用しない」の合計は39.6%となっています。

地域別に特色をみると、

- 北東部や東部、南部では、「よく利用する」の回答割合が比較的高くなっています。
- 北西部や西部では、「ほとんど利用しない」・「全く利用しない」の回答割合が比較的高くなっています。

以上より、住区基幹公園がバランスよく配置されている地域や大規模な公園が存在する地域と、そうでない地域とでは公園の利用頻度に差があることがわかります。

(3) 公園種別

【問：公園の利用頻度について】 市民・学生 《クロス集計》

選択肢	大規模公園 (N=633)	小規模公園 (N=392)	不明・無回答 (N=121)	総計 (N=1146)
1 よく利用する(週1回以上)	24.8	22.4	19.8	23.5
2 まあまあ利用する(月1回以上)	29.7	37.5	38.0	33.2
3 たまに利用する(年1回以上)	45.5	40.1	42.1	43.3

(単位: %)

※表中の■は、各列(各公園種別)での上位1位を示しています。

「よく利用する」、「まあまあ利用する」の合計に着目すると、全体(総計)では56.7%です。これに対して、公園種別に特色をみると、

- 大規模公園では、54.5%
- 小規模公園では、59.9% となっています。
- その他、公園種別による大きな差異はみられません。

以上より、公園種別にかかわらず半数以上の方が月1回以上、公園を利用していることがわかります。

※公園種別は、公園の利用頻度について上表の3つの選択肢のいずれかを選択した方のみを対象にお聞きした「普段よく利用する公園」をもとに分類しているため、「ほとんど利用しない」、「全く利用しない」と回答された方は、本項目の分析対象外となります。

(4) その他

【問：市のみどりの量について】を【公園の利用頻度別】に見た関係性 市民・学生 《クロス集計》

公園の利用頻度	みどりの量					不明・無回答 (N=100)	総計 (N=2080)
	1 多い (N=92)	2 やや多い (N=261)	3 普通 (N=1074)	4 やや少ない (N=376)	5 少ない (N=177)		
1 よく利用する(週1回以上)	20.9	18.8	16.8	11.5	12.3	8.4	15.1
2 まあまあ利用する(月1回以上)	27.9	20.1	18.9	15.4	14.9	16.9	18.1
3 たまに利用する(年1回以上)	16.3	30.2	24.4	28.0	25.4	18.1	25.3
4 ほとんど利用しない(数年に1回程度)	30.2	20.1	26.7	29.0	25.4	26.5	26.4
5 全く利用しない	4.7	8.7	11.7	15.0	21.9	18.1	13.2
不明・無回答	0.0	2.0	1.5	1.0	0.0	12.0	2.0
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※表中の■は、各列(みどりの量)での上位3位を示しています。

(単位: %)

「よく利用する」・「まあまあ利用する」・「たまに利用する」の合計に着目すると、全体(総計)では58.5%です。これに対して、

- みどりが「多い」と回答された方は65.1%
- 「やや多い」と回答された方は69.1%
- 「少ない」と回答された方では52.6% となっています。

以上より、公園等を利用するなど、みどりにふれる機会が多いほど、みどりを多いと感じる傾向があることがわかります。

②-2 「公園の利用内容」について

(1) 年齢別

【問：公園の利用内容について】 市民・学生 《クロス集計》

選択肢	10歳代 (N=397)	20歳代 (N=29)	30歳代 (N=97)	40歳代 (N=126)	50歳代 (N=108)	60歳代 (N=174)	70歳代 (N=193)	80歳以上 (N=14)	不明・無 回答 (N=8)	総計 (N=1146)
1 休憩	34.8	24.1	20.6	20.6	25.0	21.8	29.0	28.6	62.5	28.0
2 遊具等を使った遊び	29.2	13.8	48.5	31.0	5.6	6.9	3.1	7.1	0.0	20.2
3 散歩やジョギングなどの健康づくり	16.1	48.3	45.4	47.6	69.4	70.7	73.6	85.7	25.0	46.8
4 運動施設を利用したスポーツ(球技など)	37.5	17.2	9.3	9.5	5.6	5.7	6.2	0.0	0.0	17.7
5 風景観賞	6.3	24.1	20.6	24.6	33.3	35.1	35.8	28.6	62.5	22.5
6 植物や昆虫、鳥類、小動物などの観察	2.3	6.9	18.6	15.1	13.0	17.2	17.1	14.3	12.5	11.2
7 水辺とのふれあい	1.5	3.4	8.2	7.1	7.4	8.0	10.4	0.0	0.0	5.8
8 様々な人々との交流やイベントへの参加	10.1	13.8	8.2	15.9	15.7	8.0	14.5	21.4	0.0	11.7
9 避難訓練などの防災活動	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	2.1	0.0	0.0	0.5
10 公園の清掃や花壇づくりなどのボランティア活動	0.8	0.0	2.1	0.8	1.9	2.3	2.1	0.0	0.0	1.4
11 その他	15.1	13.8	11.3	19.8	8.3	11.5	8.8	7.1	12.5	12.9
不明・無回答	3.3	0.0	1.0	1.6	0.9	2.3	7.3	0.0	12.5	3.1

※表中の■は、各列（各年齢層）での上位3位を示しています。

(単位：%)

全体（総計）では、「散歩やジョギングなどの健康づくり」が46.8%と最も高く、次いで「休憩」が28.0%、「風景鑑賞」が22.5%となっています。

年代別に特色をみると、

- 「10歳代」以外の全ての年代で「散歩やジョギングなどの健康づくり」と「風景観賞」が、また、「40歳代」以外の全ての年代で「休憩」が上位を占めています。
- 「10歳代」では、「運動施設を利用したスポーツ」や「休憩」が上位を占めています。
- 子育て世代である「30歳代」、「40歳代」では、「遊具を使った遊び」が上位を占めています。

以上より、幅広い年齢層において「散歩やジョギングなどの健康づくり」や「風景観賞」、「休憩」を目的とした利用が多く、また、「10歳代」の「運動施設を利用したスポーツ」や、「30歳代」や「40歳代」の「遊具を使った遊び」を目的とした利用が多いことから、年齢層に応じた多様な内容で公園が利用されていることがわかります。

(2) 地域別

【問：公園の利用内容について】 市民 《クロス集計》

選択肢	北西部 (N=146)	北東部 (N=156)	西部 (N=86)	中央部 (N=75)	東部 (N=166)	南部 (N=109)	不明・無 回答 (N=11)	総計 (N=749)
1 休憩	27.4	23.7	26.7	22.7	20.5	25.7	36.4	24.4
2 遊具等を使った遊び	18.5	13.5	15.1	16.0	13.3	18.3	0.0	15.4
3 散歩やジョギングなどの健康づくり	57.5	64.1	61.6	60.0	74.1	56.9	45.5	63.0
4 運動施設を利用したスポーツ(球技など)	10.3	5.8	8.1	5.3	7.2	6.4	0.0	7.2
5 風景観賞	31.5	33.3	17.4	32.0	36.1	26.6	63.6	31.1
6 植物や昆虫、鳥類、小動物などの観察	11.0	18.6	17.4	13.3	16.9	17.4	18.2	15.9
7 水辺とのふれあい	8.2	9.0	3.5	5.3	9.6	9.2	9.1	8.0
8 様々な人々との交流やイベントへの参加	12.3	14.1	11.6	10.7	14.5	11.0	0.0	12.6
9 避難訓練などの防災活動	0.0	0.0	2.3	1.3	0.0	1.8	0.0	0.7
10 公園の清掃や花壇づくりなどのボランティア活動	2.1	1.9	1.2	2.7	1.2	1.8	0.0	1.7
11 その他	12.3	8.3	19.8	12.0	9.6	11.0	27.3	11.7
不明・無回答	2.7	2.6	4.7	5.3	1.2	3.7	9.1	3.1

※表中の■は、各列（各地域）での上位3位を示しています。

(単位：%)

全体（総計）では、「散歩やジョギングなどの健康づくり」が63.0%と最も高く、次いで「風景鑑賞」が31.1%、「休憩」が24.4%となっています。

地域別に特色をみると、

- 全ての地域において、「散歩やジョギングなどの健康づくり」、「風景観賞」、「休憩」が上位を占めています。
- その他、地域別では大きな差異はみられませんでした。

以上より、公園の利用内容については地域による差異は特に見られず、上位3つはどの地域も同様であることがわかります。

(3) 公園種別

【問：公園の利用内容について】 市民・学生 《クロス集計》

選択肢	大規模公園 (N=633)	小規模公園 (N=392)	不明・無回答 (N=121)	総計 (N=1146)
1 休憩	21.0	37.5	33.9	28.0
2 遊具等を使った遊び	14.5	31.4	13.2	20.2
3 散歩やジョギングなどの健康づくり	59.7	29.1	36.4	46.8
4 運動施設を利用したスポーツ(球技など)	17.2	17.9	19.8	17.7
5 風景観賞	30.6	11.2	16.5	22.5
6 植物や昆虫、鳥類、小動物などの観察	13.4	8.2	9.1	11.2
7 水辺とのふれあい	8.8	2.0	1.7	5.8
8 様々な人々との交流やイベントへの参加	13.1	11.7	4.1	11.7
9 避難訓練などの防災活動	0.2	1.3	0.0	0.5
10 公園の清掃や花壇づくりなどのボランティア活動	0.5	2.8	1.7	1.4
11 その他	8.7	19.4	14.0	12.9
不明・無回答	0.8	1.0	22.3	3.1

※表中の■は、各列(各公園種別)での上位3位を示しています。(単位:%)

全体(総計)では、「散歩やジョギングなどの健康づくり」が46.8%と最も高く、次いで「休憩」が28.0%、「風景鑑賞」が22.5%となっています。

公園種別に特色をみると、

- 大規模公園では、同様に「散歩やジョギングなどの健康づくり」、「風景観賞」、「休憩」が上位を占めています。
- 小規模公園では、「休憩」や「遊具を使った遊び」が上位を占めています。

以上から、大規模公園、小規模公園ともに「休憩」や「散歩やジョギングなどの健康づくり」によく利用されており、大規模公園では「風景観賞」、小規模公園では「遊具を使った遊び」によく利用されていることがわかります。

②-3 「公園への要望」について

(1) 年齢別

【問：公園への要望について】 市民・学生 《クロス集計》

選択肢	10歳代 (N=798)	20歳代 (N=72)	30歳代 (N=140)	40歳代 (N=213)	50歳代 (N=221)	60歳代 (N=295)	70歳代 (N=303)	80歳以上 (N=20)	不明・無回答 (N=18)	総計 (N=2080)
1 休憩ができる公園	34.1	30.6	18.6	20.2	30.3	24.7	32.3	40.0	33.3	29.6
2 花や緑、風景観賞を楽しめる公園	19.9	34.7	30.7	43.7	44.3	45.4	47.9	50.0	44.4	34.4
3 小さな子供が遊べる遊具がある公園	22.9	22.2	45.7	20.2	14.5	15.3	10.9	20.0	22.2	20.4
4 健康遊具がある公園	9.4	13.9	7.1	11.7	10.9	13.6	12.9	10.0	0.0	10.8
5 散歩やジョギングなどの健康づくりができる公園	15.7	20.8	22.9	28.2	29.9	31.2	27.4	30.0	33.3	23.3
6 安全安心に利用できる公園	18.0	36.1	36.4	26.8	26.2	26.4	24.8	20.0	16.7	23.8
7 災害時に避難地となる公園	7.0	6.9	14.3	11.7	14.5	19.3	15.2	10.0	5.6	11.7
8 災害時に河川が氾濫しないよう流量を調節する機能をもつ公園	4.4	5.6	5.0	7.5	9.0	7.5	6.9	10.0	16.7	6.3
9 水辺とふれあえる公園	11.9	16.7	15.0	7.5	8.6	5.1	7.6	5.0	5.6	9.8
10 多様な生きものが生息し、生きもの観察など環境学習ができる公園	5.1	9.7	9.3	10.8	7.7	10.5	6.9	5.0	0.0	7.4
11 ヒートアイランドの緩和や大気の浄化に役立つ公園	5.9	9.7	10.0	24.9	20.8	16.3	14.5	20.0	11.1	12.7
12 運動施設を利用したスポーツ(球技など)ができる公園	29.2	22.2	17.1	14.1	9.0	3.4	2.3	5.0	0.0	16.4
13 様々な人との交流やイベント等ができる公園	2.5	6.9	6.4	7.5	5.4	4.4	8.9	10.0	0.0	5.0
14 公園の清掃や花壇づくりなどのボランティア活動ができる公園	1.3	2.8	0.7	2.8	2.3	3.4	2.6	0.0	5.6	2.1
15 その他	4.6	2.8	4.3	4.7	2.7	1.7	2.3	0.0	0.0	3.5
16 これ以上公園は必要ない	8.5	5.6	2.1	2.3	4.5	3.1	3.3	0.0	0.0	5.2
不明・無回答	3.4	1.4	2.9	3.3	4.5	5.8	10.2	10.0	22.2	5.0

※表中の■は、各列(各年齢層)での上位3位を示しています。

(単位:%)

全体(総計)では、「花や緑、風景観賞を楽しめる公園」が34.4%と最も高く、次いで「休憩ができる公園」が29.6%、「安全安心に利用できる公園」が23.8%となっています。

年代別に特色をみると、

- 「10歳代」以外のすべての年代で「花や緑、風景観賞を楽しめる公園」が上位を占めています。
- 「10歳代」では「休憩ができる公園」、「運動施設を利用したスポーツができる公園」が上位を占めています。
- 「10歳代」、「30歳代」では、「小さな子どもが遊べる遊具がある公園」が最も高くなっています。
- 「20歳代」、「30歳代」、「40歳代」、「60歳代」では、「安全安心に利用できる公園」が上位を占めています。
- 「40歳代」、「50歳代」、「60歳代」、「70歳代」では、「散歩やジョギングなどの健康づくりができる公園」が上位を占めています。

以上より、幅広い世代において「花や緑、風景観賞を楽しめる公園」や「安全安心に利用できる公園」、「散歩やジョギングなどの健康づくりができる公園」が望まれているとともに、子育て世代である「30歳代」は「小さな子どもが遊べる遊具がある公園」、「10歳代」は「運動施設を利用したスポーツができる公園」や「休憩できる公園」など、年代ごとに特色ある公園への要望があることがわかります。

(2) 地域別

【問：公園への要望について】 市民 《クロス集計》

選択肢	北西部 (N=293)	北東部 (N=237)	西部 (N=179)	中央部 (N=137)	東部 (N=227)	南部 (N=179)	不明・ 無回答 (N=30)	総計 (N=1282)
1 休憩ができる公園	28.3	28.7	32.4	19.0	23.8	26.8	20.0	26.8
2 花や緑、風景観賞を楽しめる公園	46.1	42.6	41.3	43.1	41.9	44.1	43.3	43.4
3 小さな子供が遊べる遊具がある公園	14.3	20.7	22.9	18.2	19.8	18.4	20.0	18.8
4 健康遊具がある公園	11.9	11.0	17.3	7.3	14.1	7.8	6.7	11.7
5 散歩やジョギングなどの健康づくりができる公園	31.4	28.3	28.5	21.2	29.1	26.8	23.3	28.1
6 安全安心に利用できる公園	25.3	30.8	23.5	29.2	28.2	28.5	26.7	27.5
7 災害時に避難地となる公園	17.1	12.7	12.3	16.8	11.9	19.0	6.7	14.7
8 災害時に河川が氾濫しないよう流量を調節する機能をもつ公園	8.9	4.6	8.4	8.8	4.0	10.6	10.0	7.4
9 水辺とふれあえる公園	6.8	8.0	6.7	10.9	9.3	11.2	3.3	8.4
10 多様な生きものが生息し、生きもの観察など環境学習ができる公園	9.9	9.3	8.9	8.0	10.1	6.7	0.0	8.8
11 ヒートアイランドの緩和や大気浄化に役立つ公園	17.7	14.3	15.1	21.2	18.5	16.8	13.3	17.0
12 運動施設を利用したスポーツ(球技など)ができる公園	8.2	8.9	10.6	7.3	7.9	8.9	0.0	8.4
13 様々な人との交流やイベント等ができる公園	6.1	8.9	4.5	6.6	7.9	5.6	0.0	6.6
14 公園の清掃や花壇づくりなどのボランティア活動ができる公園	3.1	2.5	1.1	1.5	3.5	2.8	3.3	2.6
15 その他	3.8	1.7	3.9	0.0	4.4	2.2	0.0	2.8
16 これ以上公園は必要ない	4.1	3.0	0.6	2.9	4.4	3.9	0.0	3.2
不明・無回答	3.4	4.6	6.1	12.4	4.8	5.0	23.3	5.9

※表中の■は、各列(各地域)での上位3位を示しています。(単位:%)

全体(総計)では、「花や緑、風景観賞を楽しめる公園」が43.4%と最も高く、次いで「散歩やジョギングなどの健康づくりができる公園」が28.1%、「安全安心に利用できる公園」が27.5%となっています。

地域別の特色をみると、

- 全ての地域において、「花や緑、風景観賞を楽しめる公園」が上位を占めています。
- 北東部以外のすべての地域では、「散歩やジョギングなどの健康づくり」が上位を占めています。
- 北西部、北東部、西部、南部などでは、「休憩ができる公園」が上位を占めています。
- 中央部では、「ヒートアイランドの緩和や大気浄化に役立つ公園」が上位を占めています。

以上より、すべての地域で「花や緑、風景観賞を楽しめる公園」が望まれており、そのほか各地域で上位を占めている要望についても全体の傾向とほぼ同様ですが、中央部における「ヒートアイランドの緩和や大気浄化に役立つ公園」など、地域特有の要望もみられることがわかります。

(3) 公園種別

【問：公園への要望について】 市民・学生 《クロス集計》

選択肢	大規模 公園 (N=640)	小規模 公園 (N=400)	不明・無 回答 (N=1040)	総計 (N=2080)
1 休憩ができる公園	24.8	32.3	29.7%	29.6
2 花や緑、風景観賞を楽しめる公園	39.2	32.5	40.1%	34.4
3 小さな子供が遊べる遊具がある公園	18.9	29.0	15.1%	20.4
4 健康遊具がある公園	12.0	12.3	10.0%	10.8
5 散歩やジョギングなどの健康づくりができる公園	28.4	19.0	26.7%	23.3
6 安全安心に利用できる公園	24.2	24.0	29.2%	23.8
7 災害時に避難地となる公園	11.9	11.5	16.0%	11.7
8 災害時に河川が氾濫しないよう流量を調節する機能をもつ公園	6.4	3.8	9.0%	6.3
9 水辺とふれあえる公園	10.8	13.8	4.9%	9.8
10 多様な生きものが生息し、生きもの観察など環境学習ができる公園	11.3	5.8	5.8%	7.4
11 ヒートアイランドの緩和や大気浄化に役立つ公園	13.6	9.8	19.4%	12.7
12 運動施設を利用したスポーツ(球技など)ができる公園	17.2	22.3	7.0%	16.4
13 様々な人との交流やイベント等ができる公園	7.3	3.8	5.6%	5.0
14 公園の清掃や花壇づくりなどのボランティア活動ができる公園	1.9	3.0	2.0%	2.1
15 その他	2.2	5.5	3.1%	3.5
16 これ以上公園は必要ない	1.9	3.0	2.0%	2.1
不明・無回答	2.2	5.5	3.1%	3.5

※表中の■は、各列(各公園種別)での上位3位を示しています。(単位:%)

全体(総計)では、「花や緑、風景観賞を楽しめる公園」と回答された方の割合が34.4%と最も高く、次いで「休憩」が29.6%、「安全安心に利用できる公園」が23.8%となっています。公園種別にみると、

- 大規模公園、小規模公園ともに「花や緑、風景観賞を楽しめる公園」、「休憩」が上位を占めています。
- 大規模公園では、「散歩やジョギングなどの健康づくりができる公園」が上位を占めています。
- 小規模公園では、「小さな子供が遊べる遊具がある公園」が上位を占めています。

以上より、公園種別にかかわらず「花や緑、風景観賞を楽しめる公園」、「休憩」が求められており、また、大規模公園、小規模公園それぞれへの要望もみられることがわかります。

③ みどりとの関わりについて

みどりとの関わりについて、「活動の認知度」や「活動状況等」、「活動目的」、「必要な支援」について、市民、学生、自治会・市民団体、事業者に対して調査を行いました。

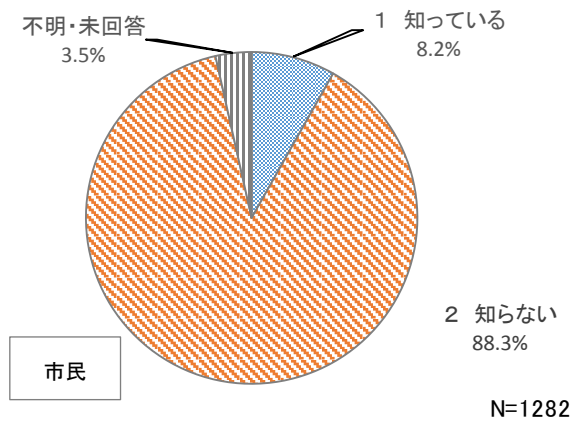
まず、「A. 市民・学生」について、次に「B. 各団体（自治会・市民活動団体、学校、事業者）」について、それぞれの結果を示します。

A. 市民・学生について

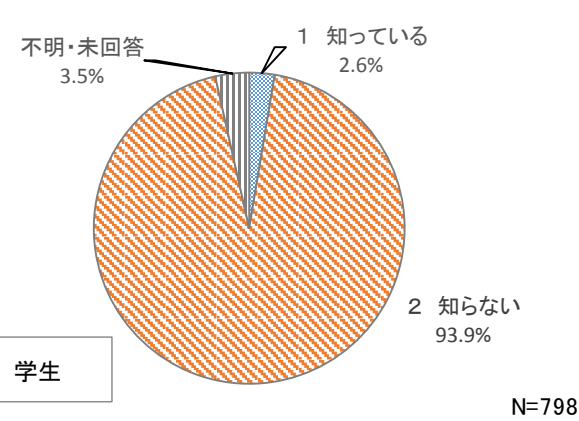
③-A-1 活動の認知度

【問：活動が行われている場所や団体の認知度について】 **市民・学生** 《単純集計》

問18 寝屋川市内において、みどりに関する活動が行われている場所や団体をご存知ですか？



問14 寝屋川市内において、みどりに関する活動が行われている場所や団体をご存知ですか？

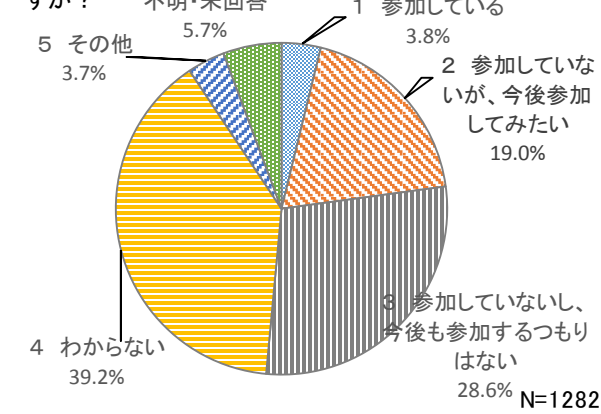


「知っている」と回答した市民は 8.2%（左グラフ）、学生は 2.6%（右グラフ）しかおらず、みどりに関する活動が市民に十分に認知されていないことがわかります。

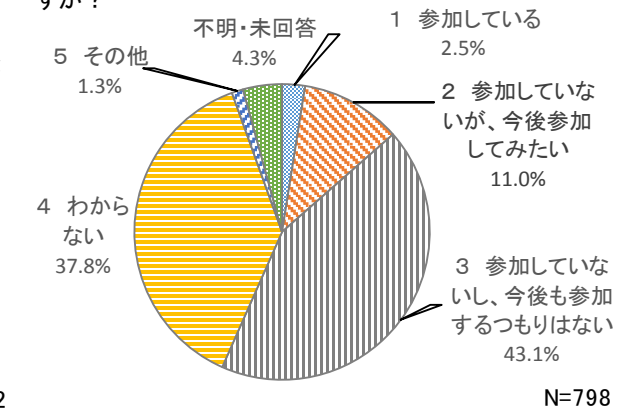
③-A-2 活動への参加状況

【問：活動への参加状況と今後の参加意向について】 **市民・学生** 《単純集計》

問20 寝屋川市内において、みどりに関する活動に参加されていますか？もしくは、参加してみたいと思いますか？



問16 寝屋川市内において、みどりに関する活動に参加されていますか？もしくは、参加してみたいと思いますか？



- 「参加している」は、市民（左グラフ）、学生（右グラフ）ともに5%未満となっています。
- 「参加していないが、今後参加してみたい」は、市民は 19.0%（左グラフ）、生徒は 11.0%（右グラフ）となっています。
- 「わからない」は、市民（左グラフ）、学生（右グラフ）ともに4割近くを占めています。

以上より、活動への参加意欲のある方は、市民では2割程度、学生では1割程度であることがわかります。

今後は、「参加していないが、今後参加してみたい」と回答した市民や学生を実際に活動に参加してもらえるような活動内容の検討やPRなどによる呼びかけが必要だと考えられます。

また、「わからない」と回答した市民や学生については、普及啓発により、みどりに対する理解を深めてもらえるような取組が必要だと考えられます。

③-A-3 活動への参加意向

【問：今後の活動への参加内容について】と【回答者の年代別】の関係性について **市民・学生** 《クロス集計》

選択肢	10歳代 (N=108)	20歳代 (N=10)	30歳代 (N=29)	40歳代 (N=42)	50歳代 (N=52)	60歳代 (N=83)	70歳代 (N=66)	80歳以上 (N=4)	不明・無 回答 (N=7)	総計 (N=401)
1 公園や緑地の花壇の世話(花の育成、水やりなど)	33.3	20.0	13.8	23.8	42.3	24.1	25.8	0.0	42.9	28.4
2 公園や緑地の清掃活動	39.8	30.0	31.0	23.8	32.7	39.8	36.4	25.0	42.9	35.7
3 道路の花壇の世話(花の育成、水やりなど)	20.4	10.0	13.8	11.9	11.5	14.5	12.1	25.0	14.3	15.0
4 道路の清掃活動	30.6	20.0	37.9	11.9	13.5	22.9	15.2	0.0	0.0	21.7
5 河川や水路での清掃活動	21.3	30.0	24.1	16.7	21.2	12.0	10.6	25.0	0.0	17.2
6 生きもの観察会や、生きものの生息・生育環境づくりに関する活動	22.2	20.0	31.0	35.7	25.0	20.5	15.2	0.0	0.0	22.4
7 散歩やジョギングなどの健康づくり(歩こう会やヨガなど)に関する活動	12.0	50.0	51.7	21.4	55.8	45.8	43.9	50.0	28.6	35.4
8 神社にある保存樹などの保護に関する活動	13.0	40.0	6.9	14.3	11.5	8.4	4.5	0.0	0.0	10.5
9 農地での農作業体験活動	19.4	10.0	27.6	23.8	19.2	8.4	12.1	0.0	0.0	16.2
10 自宅での植木や草花、生垣などの植栽	15.7	30.0	31.0	45.2	42.3	39.8	48.5	50.0	71.4	35.4
11 花や緑に関する勉強会、講習会への参加	5.6	10.0	17.2	16.7	36.5	25.3	22.7	0.0	14.3	18.7
12 緑を守るための募金や寄附への協力	18.5	30.0	17.2	4.8	15.4	9.6	10.6	25.0	0.0	13.5
13 その他	3.7	10.0	0.0	0.0	1.9	1.2	4.5	0.0	14.3	2.7
不明・無回答	30.6	0.0	0.0	4.8	1.9	1.2	7.6	25.0	0.0	10.7

※表中の■は、各列（各年齢層）での上位3位を示しています。 (単位：%)

全体（総計）では、「公園や緑地の清掃活動」が35.7%と最も高く、次いで「散歩やジョギングなどの健康づくりに関する活動」および「自宅での植木や草花、生垣などの植栽」が共に35.4%となっています。

年代別の特色をみると、

- 「10歳代」では、「公園や緑地の清掃活動」や「道路の清掃活動」が上位を占めています。
- 「30歳代」では、「道路の清掃活動」や「生き物観察会や生き物の生息・生育環境づくりに関する活動」が上位を占めています。
- 「40歳代」では、「生き物の観察会や、生き物の生息・生育環境づくりに関する活動」、「農地での農作業体験活動」が上位を占めています。
- 「50歳代」では、「公園や緑地の花壇の世話（花の育成、水やり）」が上位を占めています。

以上から、自宅など身近な場所において個人で行う活動や、道路など公共空間において協働により行う活動、公園などの利活用による健康づくりやいきがいくりにつながる活動などへの参加意欲が高いことがわかります。

③-A-4 必要な支援について

【問：行政からの支援内容について】 **市民・学生** 《単純集計》

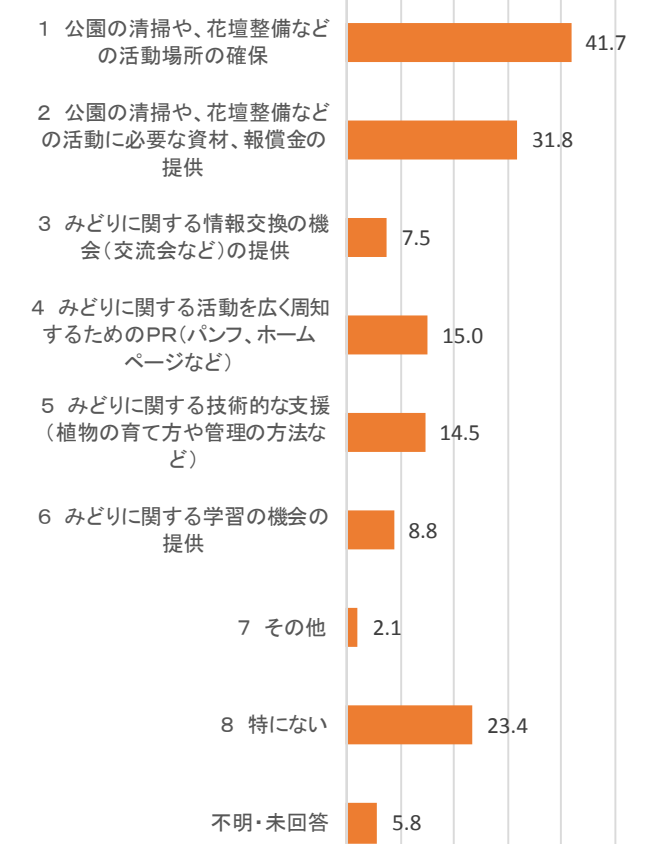
みどりに関する活動を行うために、行政からどのような支援が必要だと思いますか？



市民

N=1282

みどりに関する活動を行うために、行政からどのような支援が必要だと思いますか？



学生

N=798

- 市民については、「みどりに関する活動を広く周知するためのPR」が28.9%と最も高く、次いで「公園の清掃や、花壇整備などの活動に必要な資材、報償金の提供」が28.0%となっています。(左グラフ)
- 学生については、「公園の清掃や、花壇整備などの活動場所の確保」が41.7%と最も高く、次いで「公園の清掃や花壇整備などの活動に必要な資材、報償金の提供」が31.8%となっています。(右グラフ)

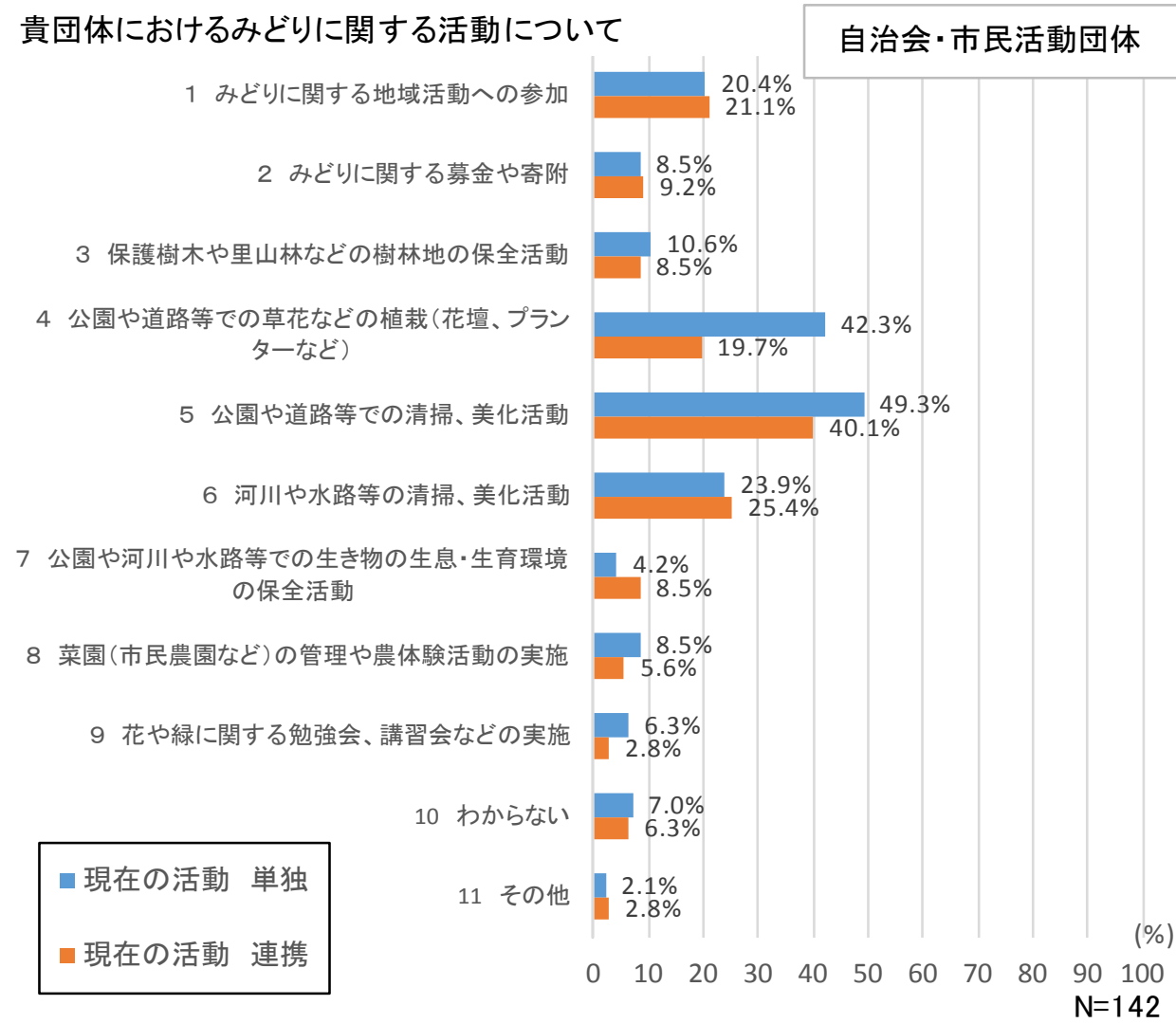
以上から、市民は特にPRに関する支援や資材・資金の提供が、学生は特に場所の確保や資材等に関する支援が必要だと思っており、それぞれで内容に違いがあることがわかります。

B. 各団体（自治会・市民活動団体、学校、事業者）について

③-B-1 活動への参加状況

【問：現在の活動への参加状況について】 自治会・市民活動団体 《単純集計》

貴団体におけるみどりに関する活動について

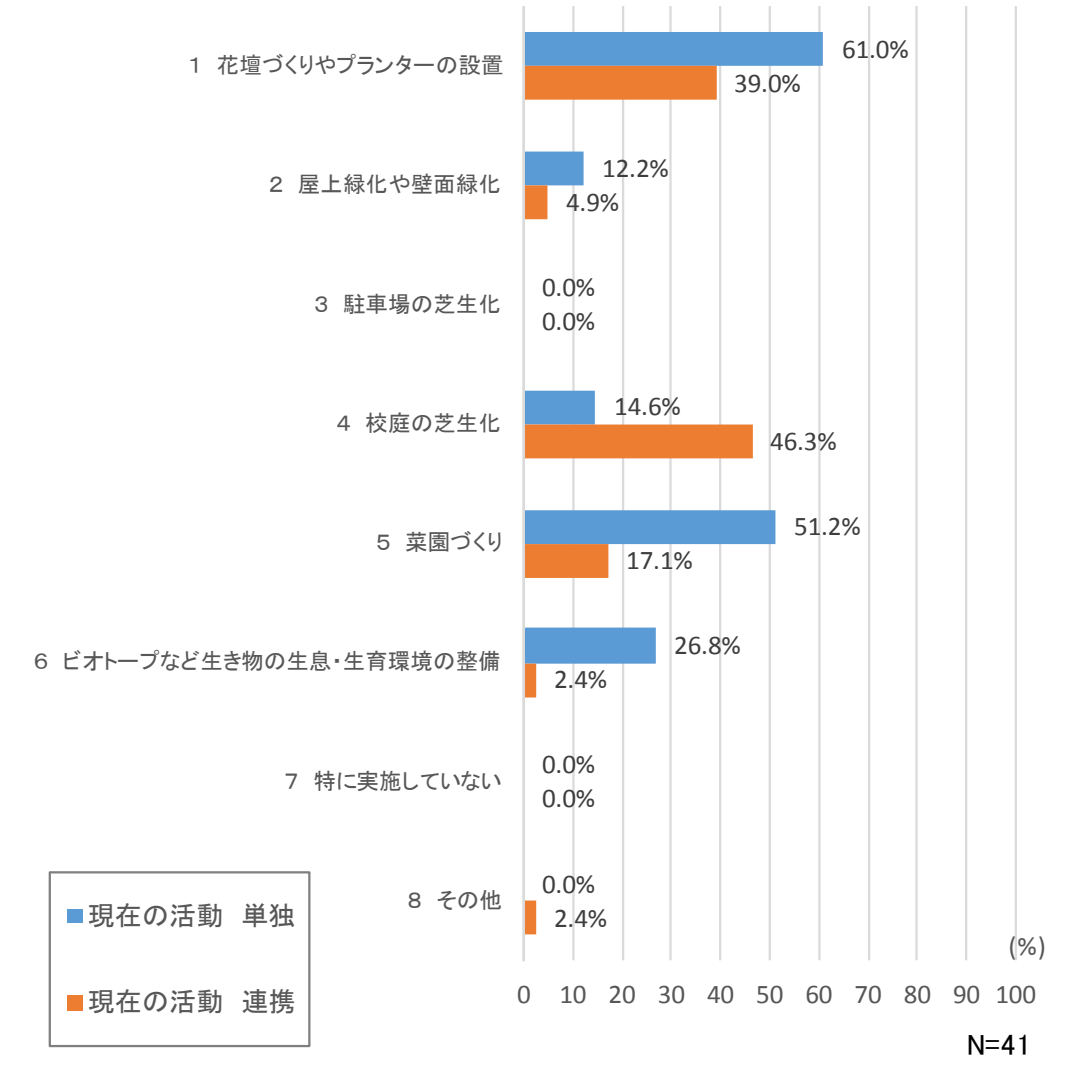


- 単独で実施されている活動では、「公園や道路等での清掃、美化活動」や「公園や道路等での草花の植栽」が上位を占めています。
 - 連携で実施されている活動では、「公園や道路等での清掃、美化活動」や「河川や水路などでの美化活動」などが上位を占めています。
- 以上より、これまで本市で実施している資材提供や助成のほか、継続的に実施している市民活動団体等との連携によるクリーンリバー作戦などによる活動の成果が挙がっていると考えられます。

【問：現在の敷地内での活動状況について】 学校 《単純集計》

問5 みどりに関する取り組みについて、貴校の敷地内における「これまでの活動内容」及び「今後してみたい活動内容」について、【貴校単独の取り組み】または【他団体との連携】の区別を含めて教えてください。

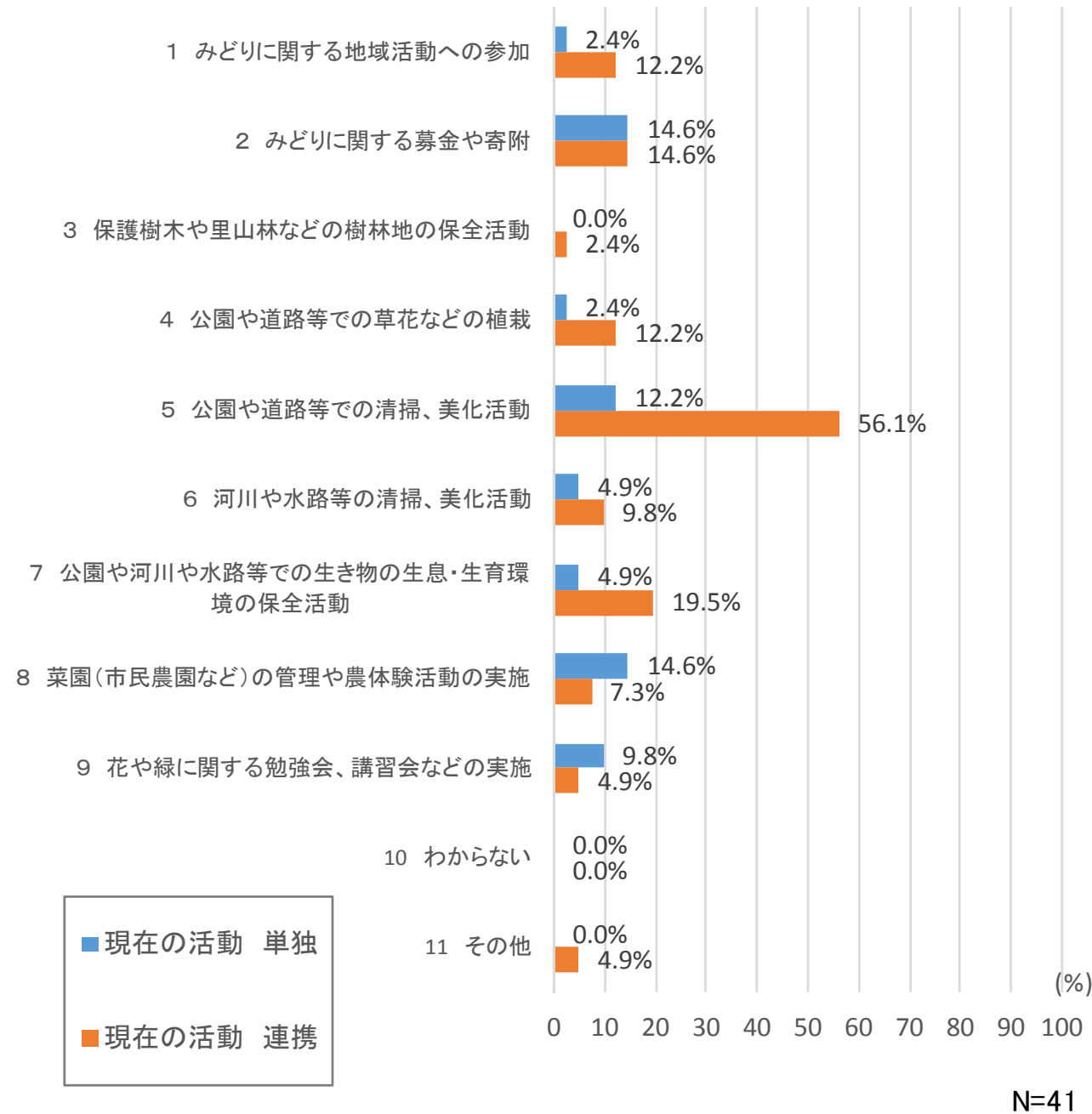
学校



- 単独で実施されている活動では、「花壇づくりやプランターの設置」や「菜園づくり」が上位を占めています。
 - 連携で実施されている活動では、「校庭の芝生化」や「花壇づくりやプランターの設置」が上位を占めています。
- 以上より、学校のプログラムの一環としてみどりに関する取り組みが実施されていると考えられます。

問6 みどりに関する取り組みについて、貴校の敷地外における「これまでの活動内容」及び「今後してみたい活動内容」について、【貴校単独の取り組み】または【他団体との連携】の区別を含めてお教えてください。

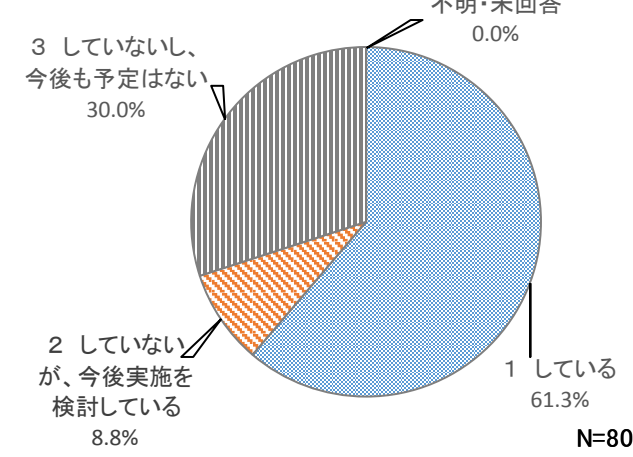
学校



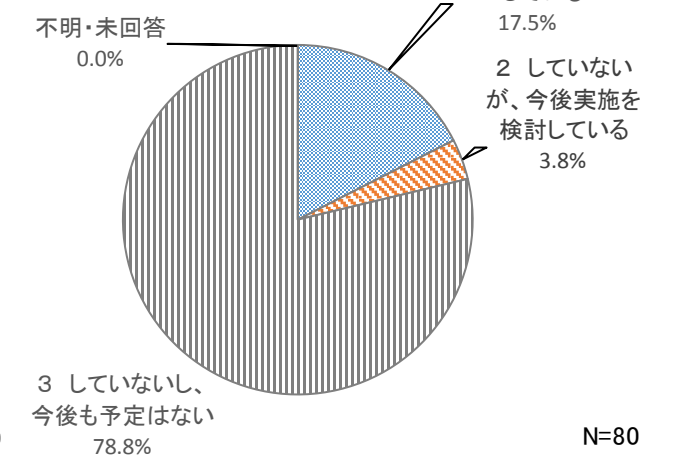
● 連携で実施されている活動では、「公園や道路等での清掃、美化活動」が特に多い結果となっています。

以上より、他団体との連携による公共空間での活動が活発に行われていることがわかります。

問6 貴事業所では、敷地内でのみどりに関する取り組みを実施していますか？



問8 貴事業所では、敷地以外でのみどりに関する取り組みを実施していますか？

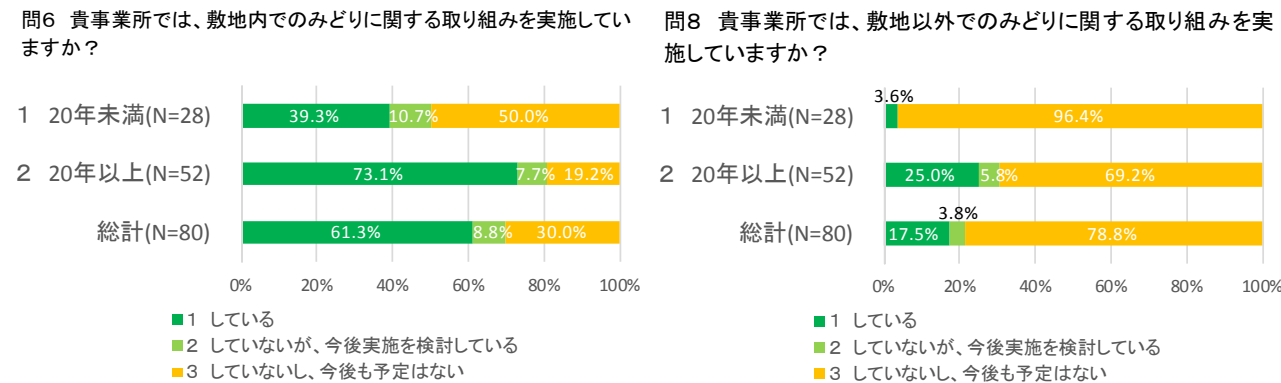


- 敷地内での活動では、「実施している」が6割を占めています。(左グラフ)
- 敷地外での活動では、「実施している」が2割程度となっています。(右グラフ)
- 「していないが、今後実施を検討している」は、敷地内(左グラフ)、敷地外(右グラフ)ともに10%未満です。

以上より、敷地内では6割を超える事業者がみどりに関する活動を実施している一方、今後の参加意欲のある事業者は少ないことがわかります。

【問：敷地内・敷地外での活動状況について】と【事業年数】との関係性について **事業者**《クロス集計》

(※事業年数を前みどりの基本計画の策定前後となる20年未満と20年以上で分類)

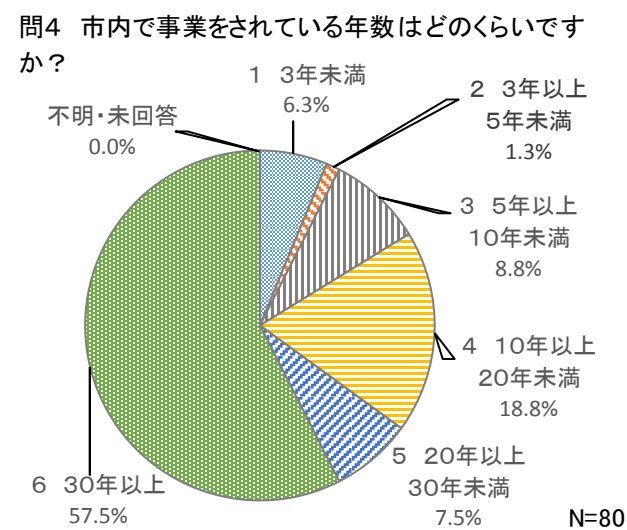


- 事業年数が20年未満の事業者では、「実施している」は敷地内で39.3%（左グラフ）、敷地外で3.6%（右グラフ）でした。
- 事業年数が20年以上の事業者では、「実施している」は敷地内で73.1%（左グラフ）、敷地外で25.0%（右グラフ）となっています。

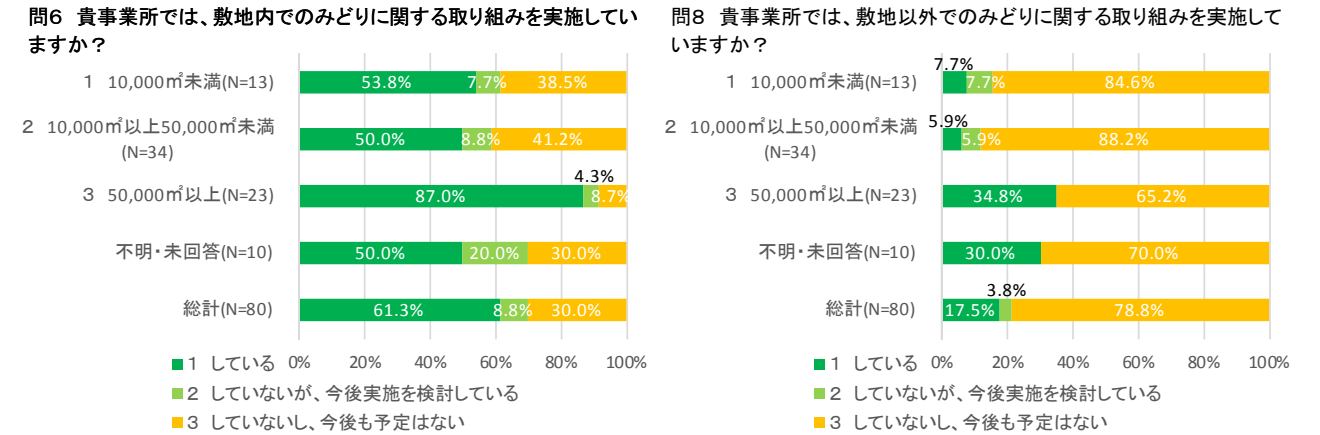
以上より、事業年数多い事業者の方がみどりに関する取組みを実施している割合が高いことがわかります。

【参考：事業者の事業年数について】

市内での事業年数については、「30年以上」が57.5%で半数以上を占めています。



【問：敷地内・敷地外での活動状況について】と【事業敷地規模】との関係性について **事業者**《クロス集計》

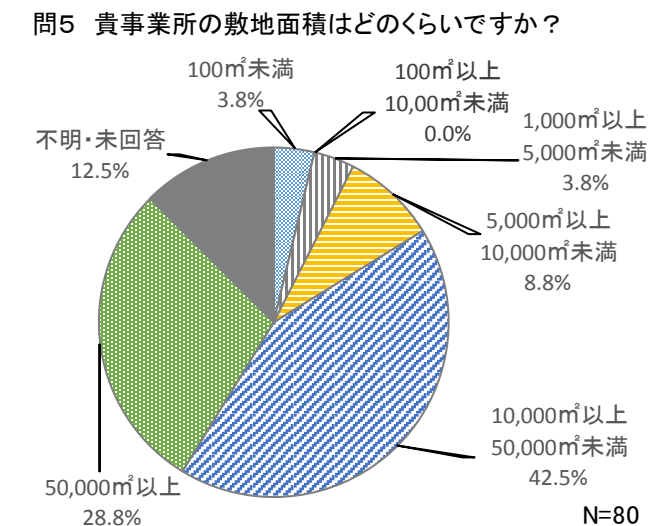


- 敷地面積が10,000㎡未満の比較的規模の小さい事業者では、「実施している」の割合は、敷地内で53.8%（左グラフ）、敷地外で7.7%（右グラフ）でした。
- 敷地面積が10,000～50,000㎡未満の事業者では、敷地内で50.0%（左グラフ）、敷地外で5.9%（右グラフ）でした。
- 敷地面積が50,000㎡以上の比較的規模の大きい事業者では、「実施している」の割合は、敷地内で87.0%（左グラフ）、敷地外で34.8%（右グラフ）でした。

以上より、特に50,000㎡以上の事業敷地規模の大きい事業者においてみどりに関する取組みを実施している割合が高く、50,000㎡未満の事業所では同程度であることがわかります。

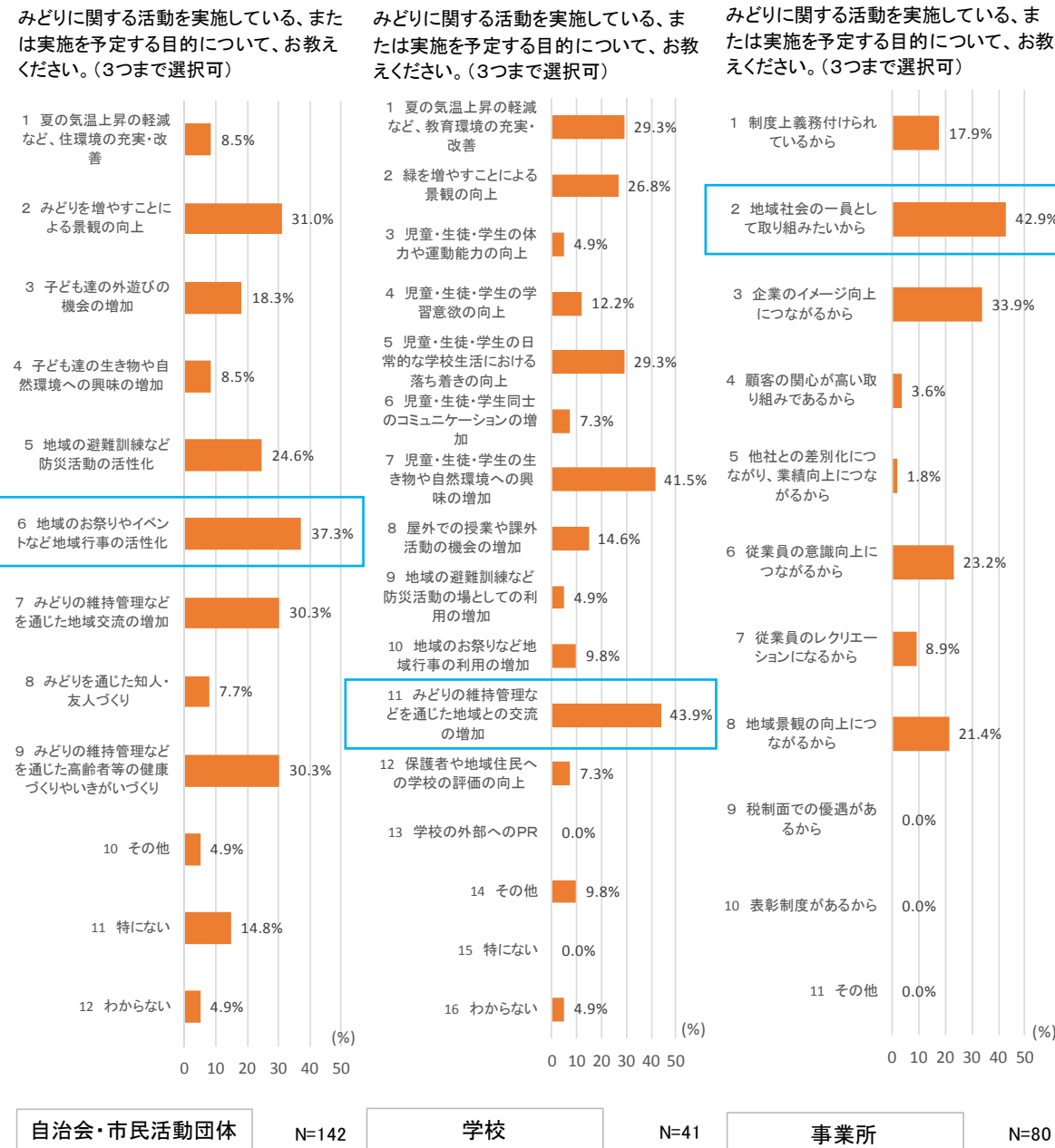
【参考：事業所の敷地面積について】

事業敷地面積については、「10,000㎡以上50,000㎡未満」が42.5%を占めています。



③-B-2 活動の目的について

【問：活動の実施、または活動を予定する目的について】自治会・市民活動団体、学校、事業者 《単純集計》

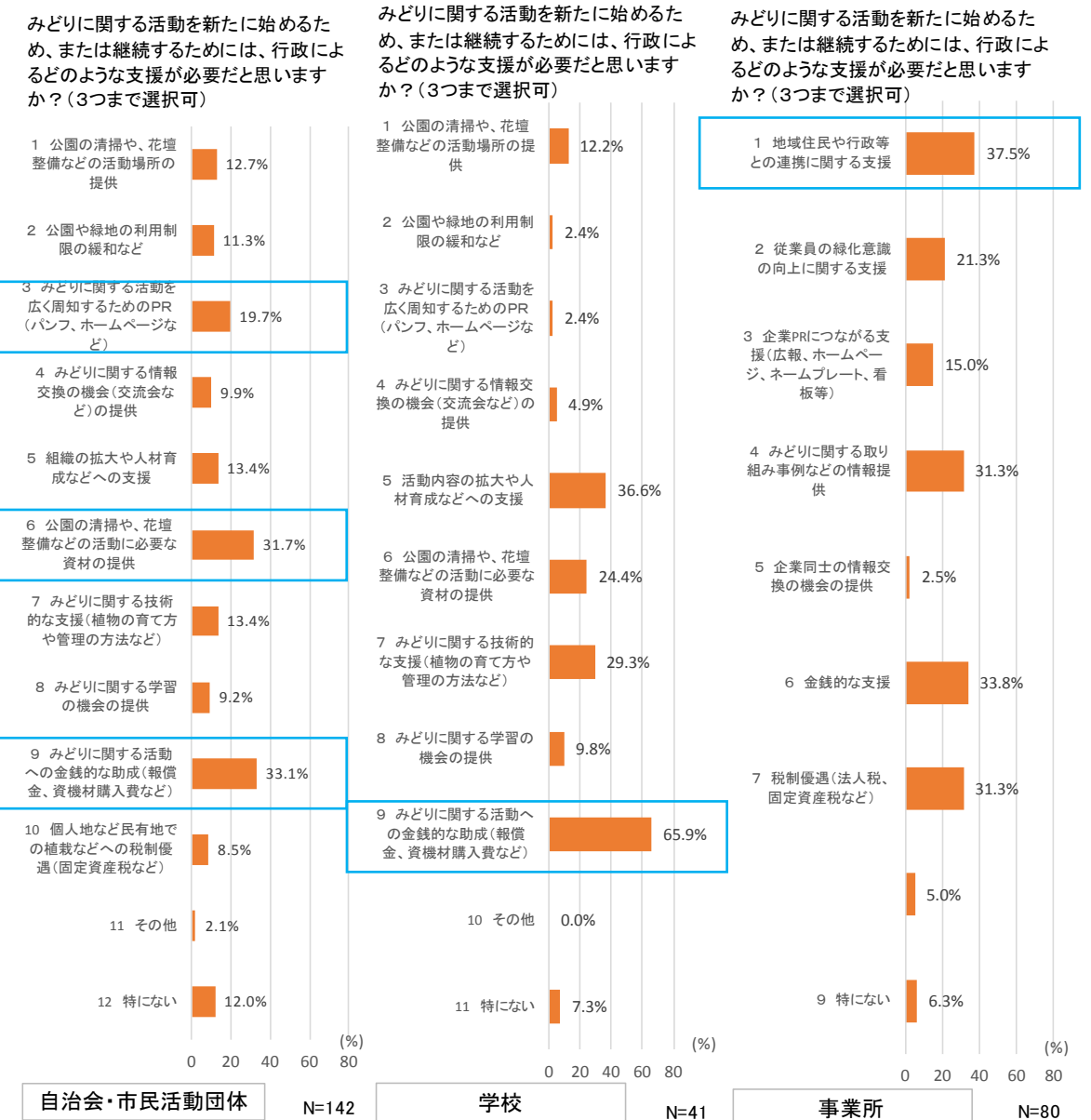


- 自治会・市民活動団体では、「地域のお祭りやイベントなど地域行事の活性化」が最も高くなっています。
- 学校では、「みどりの維持管理などを通じた地域との交流の増加」が最も高くなっています。
- 事業者では、「地域社会の一員として取り組みたいから」が最も高くなっています。

以上より、全ての主体において、直接的な効果よりも、みどりに関する活動を通じた交流や地域の活性化を目的として取り組んでいることがわかります。

③-B-3 必要な支援について

【問：行政からの支援内容について】自治会・市民活動団体、学校、事業者 《単純集計》



- 自治会・市民活動団体では、「みどりに関する活動への金銭的な助成」や「公園の清掃や、花壇の整備などの活動に必要な資材の提供」、次いで「みどりに関する活動を広く周知するためのPR」が上位を占めています。
- 学校では、「みどりに関する活動への金銭的な助成」が65.9%と突出しています。
- 事業者では、「地域住民や行政等との連携に関する支援」が37.5%で最も高い結果となっています。

以上より、活動費用や資機材の提供など、これまでに取り組んできた支援策と同時に、みどりの活動に関する情報発信や市民間での共有のための周知活動が重要であることがわかります。

また、各主体により必要と考えている支援内容が異なっており、各主体の抱える課題等に応じた支援が求められていることがわかります。

④自由意見について

市民アンケート自由意見については、今後、計画に反映すべき貴重な意見が多く見られたため、以下の通りポイントごとに整理しました。

自由意見（抜粋）	今後、計画に反映すべきポイント
<ul style="list-style-type: none"> ・友呂岐緑地などがきれいであれば、寝屋川市の質が上がる ・桜が多いので、これを市のウリにしてはどうか 	都市格の向上
<ul style="list-style-type: none"> ・中途半端な緑（手入れ不足）は景観を損ない、逆効果になりかねない。見ていやされる緑があれば心もやすらぎ嬉しい。 ・ゴチャゴチャと日常生活の物であふれた所に美しいバラの花瓶を置いても映えないように、街中に緑だけを増やしても感動するような景観は得られにくい。 	景観形成 みどりの質の向上
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、子ども、幼児の公園の利用のシェアに関すること（エリアで分ける、時間帯で分ける） ・乳幼児が遊べる遊具がない所が多く、日かげがほしいなと思っています。（公園をあちこち行けば良い話かもですが） ・近くにも小さい公園は多くあるのに、ほとんど人はいません。薄暗くて一応滑り台などはありますがこんな公園は必要なのかと思うところがあります。 	都市公園の利用のあり方や創出・充実のあり方
<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの自治会にある身近な公園の整備に力を入れてほしい。 ・寝屋川公園は辺りな場所の意味がない。公園とはまちなかにあってこそ意味がある。各駅から10分以内の範囲に広い公園（100m四方以上）を整備すべき。 	地域性に配慮した公園配置
<ul style="list-style-type: none"> ・所々に小さいこいの場でもあれば人との交流も増えるし、本当の意味での「活気」が生まれると思う。 ・いつも綺麗な感じであれば心もほっとします。みんなで気をつけて地域で声かけして綺麗な道沿いになれば良いなと思います。 ・地域毎に管理グループを作り、定期的にボランティアを集めて管理すれば、参加、健康、やりがいなどはもとより、コミュニケーションづくりが出来ると思っている。 ・みどりを植えていると、ご近所さんとの会話も増えました。 	みどりを活かしたコミュニティの形成
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の木、花という意識を高め、地域で管理出来たらと思います。 ・相続税に絡んで緑を手放す方も多いのも事実です。 ・現在の活動されている方々にはエリアでここをすべて管理しているというのがあり、入り込めません。さまざまな人がいつでも参加できるみどりの管理ができればいいなと考えています。 ・「みどりモニター」などで市民目線での緑の活動はどうでしょうか。 	制度やしきみなど
<ul style="list-style-type: none"> ・花の見ごろにもあわせて季節感をもたせたお知らせがあれば、少しは足が向くと思います。 	情報発信
<ul style="list-style-type: none"> ・税金は教育や育児（待機児童問題）に必要 ・みどりも良いですが、福祉や医療など、より住みよくするためお金をかけるべき所をよく考えてください 	その他